

証明書のインポート手順 Microsoft Internet Explorer, Edge編

・ Google Chrome編

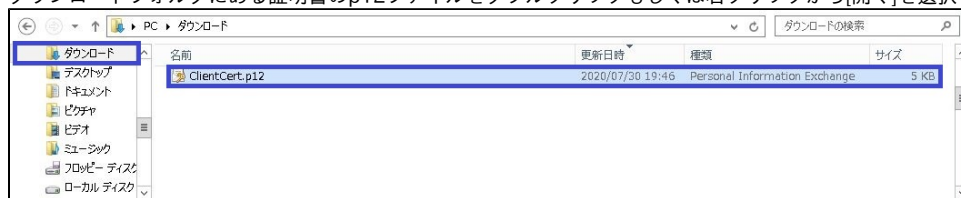
改版履歴			
版数	日付	内容	担当
V.1.0	2020/9/14	初版	NII
V.1.1	2021/10/12	対象ブラウザにMicrosoft Internet Explorerを追加	NII

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順

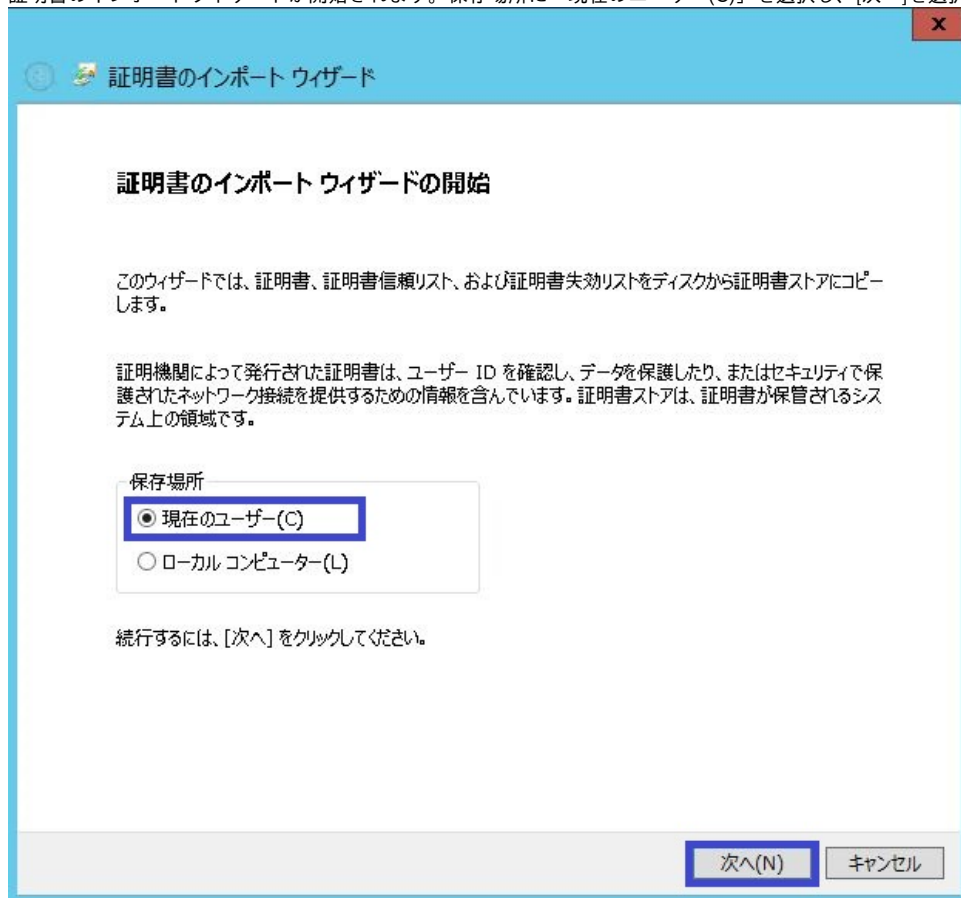
ここではMicrosoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順について記述します。

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの手順

1. ダウンロードフォルダにある証明書のp12ファイルをダブルクリックもしくは右クリックから[開く]を選択してください。



2. 証明書のインポートウィザードが開始されます。保存場所に「現在のユーザー(C)」を選択し、[次へ]を選択してください。



3. ファイル名にインポートする証明書のp12ファイルが選択されていることを確認し、[次へ]を選択してください。
(インポートする証明書のp12ファイルが選択されていない場合は[参照]をクリックして、インポートする証明書のp12ファイルを選択してください)

証明書のインポート ウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(F):
C:\Users\Downloads\ClientCert.p12

参照(R)...

注意: 次の形式を使うと1つのファイルに複数の証明書を保管できます:

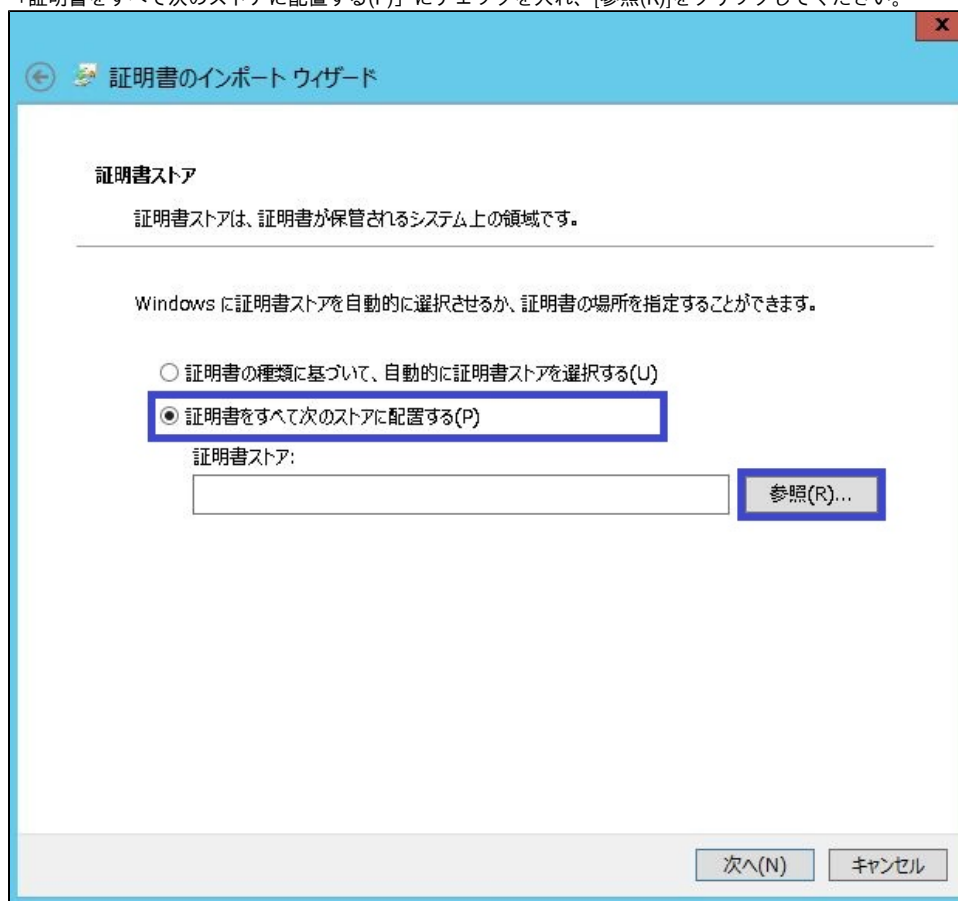
- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ(N) キャンセル

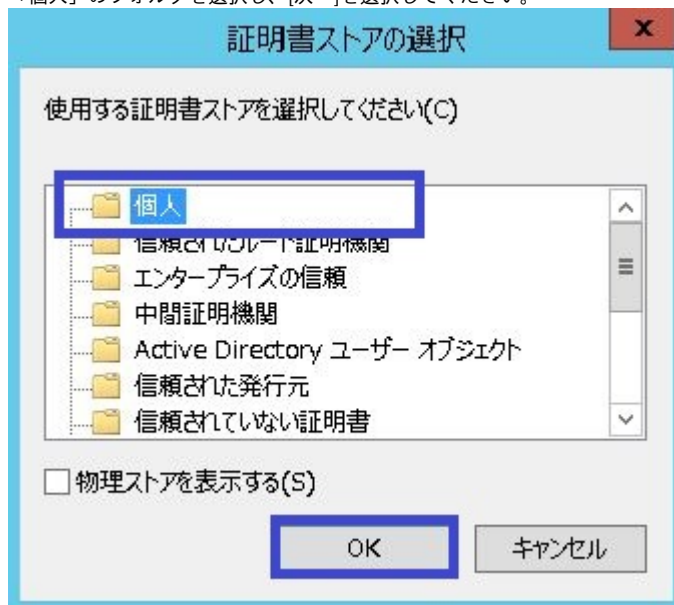
4. 「このキーをエクスポート可能にする(M)キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「全ての拡張プロファイルを含める(A)」にチェックを入れ

証明書をダウンロードする際に使用したアクセスPINをパスワード欄に入力し、[次へ]を選択してください。

5. 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」にチェックを入れ、[参照(R)]をクリックしてください。



6. 「個人」のフォルダを選択し、[次へ]を選択してください。



7. 「証明書ストア:」に「個人」が選択されていることを確認し、[次へ]を選択してください。

証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

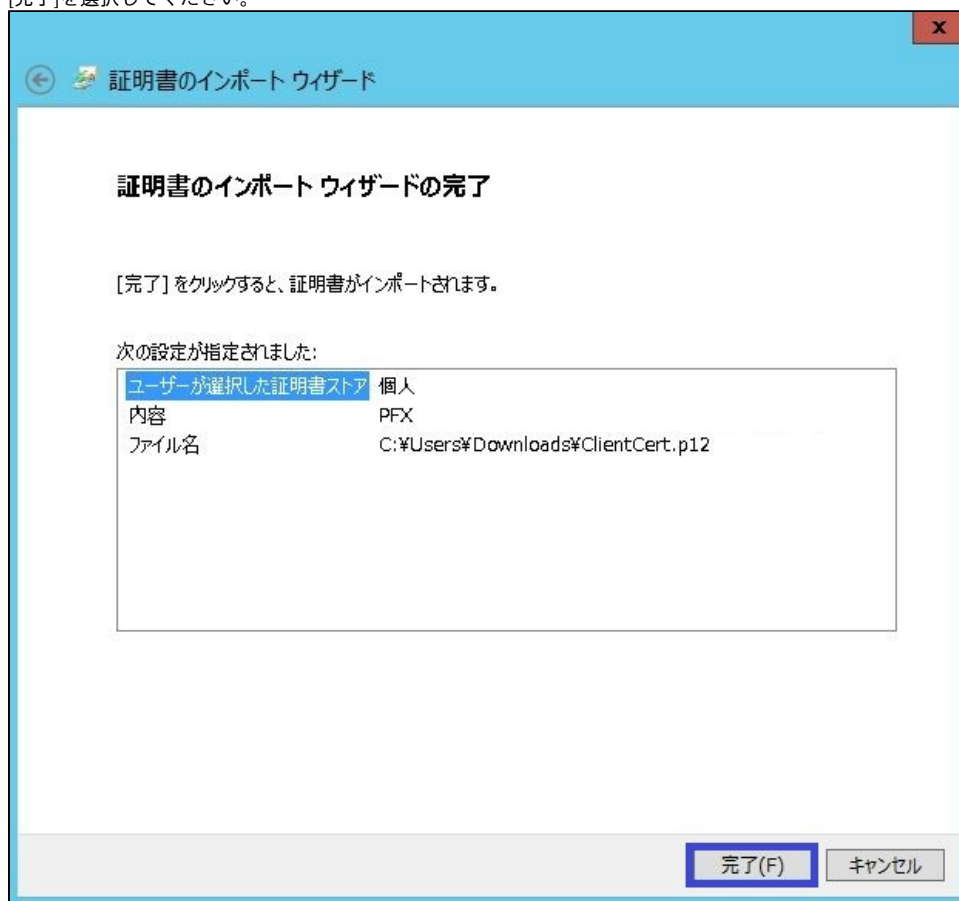
証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:
個人

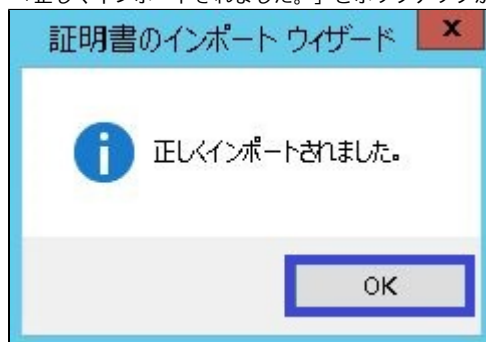
参照(R)...

次へ(N) キャンセル

8. [完了]を選択してください。



9. 「正しくインポートされました。」とポップアップが表示されるとインポートは完了です。[OK]をクリックしてポップアップを閉じてください。



以上で、Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポートは完了しました。
「[証明書の存在確認手順 Internet Explorer編](#)」、「[証明書の存在確認手順 Microsoft Edge編](#)」もしくは
「[証明書の存在確認手順 Google Chrome編](#)」を実施し、証明書がインポートされていることを確認してください。